



あじさいネット OFF LINE 通信 vol. 6



2011 難所ヶ滝 (福岡県宇美町)

写真提供：米満 伸久 先生 (佐世保中央病院)

目次

会員様の声

高原内科循環器科医院	高原 晶 先生	2
中村内科クリニック	中村 憲章 先生	3
ライン薬局	水崎 直文 先生	4

情報提供病院のご紹介

聖フランシスコ病院 地域連携科	5
長崎記念病院 地域連携室	6

あじさいネット キーパーソンに聞く (株)NTT データ 石黒 満久 氏	7
---	---

あじさいニュース・同意書の取り扱い手順・表紙撮影☆談話	8
-----------------------------	---

現在の運用状況

(平成 25 年 3 月 15 日現在)

患者登録数	26,185 名
(全件あじさいネット説明同意書取得済み)	
会員数	285 名
情報閲覧施設数	176 施設
(内、薬局数 25)	
情報提供病院数	17 施設

賛助会員

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- 三菱化学メディエンス(株)
- 富士通(株)長崎支店
- (株)NTT データ ライフサポート事業本部

基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会



患者さんには「異常なし」より「上等！」と声をかけて

心臓の場合は分単位、秒単位が勝負になりますので、近隣の循環器の先生方には「心筋梗塞、狭心症の搬送は、休日であっても夜中であっても、申し訳ないけど絶対遠慮しないで送ります」と伝えていきます。基幹病院への緊急搬送後、心臓カテーテルといった処置の最中に状況を尋ねることはできませんので、時間的余裕がある時は、紹介状を書く際に一緒に、ご本人もしくはご家族からあじさい

循環器科でのあじさいネット利用

あじさいネット設立当初に、情報発信先の病院と大ゲンカしました。ちょうどその当時、基幹病院との手紙、紹介状の受け渡しがいまいちかかない事があって「ITネットワークの前に、人と人との当たり前の関係が必要なんじゃないのか！」と異議を唱えたことを思い出します。その後、協議と飲み会の積み重ねによって、徐々にお互い仲良くなっていきました。

あじさいネットの思い出



DOCTOR'S PROFILE
 S54年 関西医大卒
 H7年 父業継承で開業
 H16年 設立当初に入会
 ■長崎県医師会副会長
 ■あじさいネット設立時、理事

諫早市小船越町

高原内科循環器科医院

たかはら

あきら

高原 晶 先生

TEL : 0957-22-1740

今年度導入される、あじさいネットのインフラを利用したテレビ会議システムに期待しています。会議の際、遠方から出席される先生方の日程調整が一番大変です。会議の時間帯は空いているのに、会議場に向かうまでの時間が長いという先生方に、テレビ会議の拠点となる近隣の医師会館等で、会議に参加してもらえますからね。

テレビ会議に期待しています

あじさいネットは、単純に数値とかのデータはすごいと思います。ただ、ドクターの考え方が見えてこないのが残念です。【この治療法を選択した理由】とか【こういう形で説明した】とか【私はこう思っている】といった言葉が意外と少ない。あじさいネットで参照されるから、逆に書けなくなったのかも知れませんが、看護記録を読んだ方が、まだよく分かる時があります。

ネットの同意書も書いて頂いています。そして基幹病院での処置後、しばらく落ち着いた頃に閲覧し確認しています。ただ動画が対応していないのが残念です。早く動画に対応してほしいですね。入院されている患者さんの容態が危ない時は、あじさいネットに毎日つないで見守っています。また、基幹病院で検査をされた患者さんが、当院に来院された際に、検査結果をすぐ閲覧できるのは便利ですね。

訪問看護の現場でもあじさいネットを

現在、訪問看護ステーションはテスト運用中です。今後は、訪問看護の現場での活用を軌道に乗せていく事に期待しています。

私も含め開業医の中には、昼休みは訪問診療を行い、夜は緊急に在宅末期患者の処置に赴くドクターが多くなります。今後は、訪問看護の現場で、あじさいネットを上手く使い、患者さんへのより迅速な対応と、医療従事者の負担を減らすことにつなげていけたらと考えます。今でもメールで写真などを送ったりはしていますが、将来的には診療所と訪問看護ステーションをつないで、ステーションから診療所の電子カルテを参照したり、現場でiPadを用い撮影した画像を、電子カルテ上で参照できるといった形が実践できたらと思います。

当院は電子カルテに音声入力しています。「上等！」と言うとカルテに【異常なし】と入力されます。患者さんの顔を診ながら入力出来る事、患者さんに私が書いている事が分かる点が良いですね。



●●高原先生の万相談所の日々●●

父業継承するまで、光晴会病院に勤務し心臓カテーテル検査もしていました。

今でも一緒に救急車に乗っていくことがよくあります。当院の前の坂道で救急車に乗り込み、救急車の中で心マッサージを施すこともあります。ダメかな？と思った方が、基幹病院から歩いて帰る事ができて良かったなと思うこともあります。

また、普段の診療の中で、心臓病の患者さんは特に心配性なので「自分が心臓の病気だから死ぬんじゃないか」と不安に言われるのを「いや、大丈夫ですよ」という役目も多いです。そういう意味では、私たち循環器の医者は、心療内科的なアプローチも必要と思われます。

当医院では、「切れ目のないインターネット環境」の構築を実践しています。



・ DOCTOR'S PROFILE ・

S44年 長崎大学医学部卒
H5年 中村内科クリニック開業
H22年よりあじさいネット会員

入会のきっかけ

長崎在宅ドクターネットのメンバーングリスには様々な情報が流れています。そうした中で「あじさいネット」が便利だと知りました。その後、講演会で聴く機会もありましたので、平成二十二年に入会しました。

在宅医療移行の患者さんは、中核病院に入院した経験がある方が多いですので、「あじさいネット」は、在宅移行前の情報収集にも使っています。

「切れ目のないインターネット環境」の構築へ実践の日々

当医院のインターネット環境は、受付にORCA（主）、診察室にORCA（副）を、院長室にWindowsXP（主）とWindowsXP（副）を置き、LANで接続しています。

「あじさいネット」は院長室のWindowsXP（副）で利用しています。ここでは、患者

長崎市竹の久保町

中村内科クリニック

なかむら

のりあき

中村 憲章 先生

TEL : 095-864-1234

情報の収集、レセプト請求や特定健診の請求もオンラインで行っています。

LANとWANの切り替え器を使い、あじさいネットを利用しています。

受付のORCA（主）の臨床会計情報（CLAIM）の初診時IDを、あじさいネット上にも同一のIDとして設定しています。

すると、あじさいネットのアクセスには、当医院の患者IDを使用することができ、複数の中核病院にかかっている患者さん情報が、同じ画面に表示されることになり非常に便利です。

診察室のORCA（副）は主にWindowsXPを利用して、院内画像（エコー画像やDICOMデータ）、医師会検査データを表示して患者説明に利用するとともに、空き時間にはメールや検査データ入力に利用しています。

今後「あじさいネット」に期待する点

ID-LinkとHuman Bridgeを紐付して、一つの画面に表示されるように検討して頂きたい。例えば井上病院（Human Bridge）と長崎大学病院（ID-Link）にデータがある患者さんの場合、両システムにアクセスして、二つの画面を開かないといけない。現在のカレンダー表示のようにクリックしていき、同一画面で見れるようになると、非常に便利ですね。

最近、半年に一回、定期検査で中核病院を受診する患者さんが増えてきています。同意書の閲覧期限は半年間ですので、ちょうど開

覧期限がきれるときがあります。その際は、再度、同意書をとりますが、現状を踏まえると、閲覧期限は一年間が適切だと思います。

平成二十四年四月より「城山クラブ在支連携医会」を構築して、強化型在宅医療を開始しました。将来的に、同じ番号でチーム全員がアクセスできるようにしたいですね。

中核病院に紹介する際、当医院で撮影した画像をCDにいれて送ると、あじさいネットのカレンダー表示の中に当医院のデータがはいります。現在、取り込みをしていない病院もありますが、こういったデータを、なるだけ早急に取り込んでもらえるとう助かります。

六十の手習い

「コンピュータも医学と一緒に解剖から」

コンピュータは、したことも見たこともなく、六十の手習いで始めました。

長崎市情報処理委員会の元委員長の高藤泰孝先生にご教示願ったところ「コンピュータは医学と一緒に基礎からせんと。解剖からせんばいかん。」と言われました。そこで、コンピュータを買ってきて、全部分解しました。コンピュータの中を開けると、ベルトみたいなのがいっぱいついてますからね。それがどうなっているか、どこにつながって、どんな作用があるかを一つ一つ外して、番号と印をつけて分解して、ここどこがつながつとるといふ具合に組立し直しました。そこから始めましたね。すると、二年くらいで大体覚ええました。最初の頃は、組立て直した後、画面が映らなくなることもあって、コンピュータのサービス業者の方には、大変お世話になりましたね（笑）

副作用の説明は、「あじさいネット」の検査値や治療内容で確認



入会のきっかけ

・水崎 直文 先生 PROFILE・

H 4年 福岡大学 薬学部卒
H20年 開局
H23年よりあじさいネット会員

薬剤師になる前は、製薬会社勤務で患者さんではなく医師、薬剤師に薬を説明するのが仕事でした。商品Aは血圧がこれくらいの患者さんに、商品Bはコレステロール値が高い患者さんに、商品Cは血中濃度を測定して投与量を決めてください・・・と。

調剤薬局の薬剤師になりそういう知識を持ちながらの勤務でしたが、患者さんが持参する処方箋と聞きとりだけでは不十分で薬のメリットも十分説明ができないと、ずっと思い続けていました。

また、中核病院に掛かっておられる患者さんが持つて来られる喘息吸入薬のみの処方。会話の中で、喘息のぜの字もでてきません。「今日の点滴もきつかった。薬の副作用なんだろうね？」と。大よその推測はできるのですが、訴えられる点滴の副作用に関しては、あいづちを打つのがやっとです。

長崎市花園町 みずさき なおふみ
ライン薬局 水崎 直文 先生

TEL : 095-801-7758

さらに高齢の患者さんの中には親しくなる病院での検査や診断情報、さらには家族や最近の出来事等、薬剤師の私が全て知っているかのように話をされる患者さんがおられます。そのような時、せめて受診された検査や診断情報だけでも共有したいと思いました。こういった日常業務での出来事が、あじさいネットに入会しようと思ったきっかけです。

「あじさいネット」が処方箋一枚で判断できなかったことをカバ―

二十年前、私が製薬会社に入社したころは、製薬会社のMRさんは、薬のメリットを主に説明するような時代でした。しかし、最近は徐々にデメリットに重きをおいて「こういう副作用が出ますから」と説明するように変わってきていると思います。実際、今は逆の立場でMRさんから薬の説明を聞きますが、副作用をしっかりと説明されていかれます。この薬は肝機能障害や腎機能障害のチェックが必要な薬です・・・と。しかし、私ら薬剤師は処方箋一枚ではそういった副作用がでているかどうかは判断が付きません。それには検査値が必要不可欠になります。

あじさいネットを利用すると、検査値を確認できますので、患者さんの状態をきちんと把握した上での服薬指導ができます。患者さんの中には、明日あるいは明後日、副作用があるのではないかと大変不安を感じておられる方もいらっしゃると思いますので、そのような患者さんの検査値や治療内容は、自らの目で確認して問題がなければ「副作用もでないから続けて大丈夫です。」と安心して伝えることができます。

また、副作用で薬が変更された時も、病院で受けた説明を、薬局の窓口で繰り返し話すことで、患者さんに安心してもらえることもあります。そうすることで患者さんと信頼関係ができ、さらに深い話もできます。あじさいネット利用は、こういったメリットも生まれてきます。

これから変えていきたいこと

どうしても薬局は薬だけ出してくれればいいという患者さん、病院で説明を聞いているから、詳しい説明はいいですよ、という患者さんがおられます。

また、あじさいネットでは薬剤師会員の閲覧できる情報に制限がかけられている施設もあります。これらは私ら薬剤師のレベルが起因しているところが大きいと思っています。

患者さんからは「薬のことは薬剤師さんに」と思われるように、そして医師や他の医療関係者からは「薬剤師にもこのような情報を知ってもらわない」と言っているように、日々レベルを上げて変えていかななくてはなりません。

●●水崎先生に伺いました●●

座右の銘

「一生懸命」

今、目の前の事に一生懸命取り組みます。

Q. その時々を一生懸命という事ですか？

A. そうです。だから、インタビュー受けている今はインタビューに一生懸命です。

先生にとっての薬局の在り方を教えてください。

一般的に街の薬局は【健康相談の窓口に！】と言われていますが、そうありたいと思います。薬局の入口は少しオープンにして、ほとんど窓口に座っています。自然に中の様子が見えるのもあり、近所の親しい患者さんは、薬局の前の道を通りながら薬局の中を見て「あっ、おるな！」と言って立ち寄ってくれます。処方箋があるわけでも薬を買うわけでもなく、何もなくて寄られる方もおられます。「こども110番」じゃないですが、そういう風に自然と立ち寄れる、そんな薬局でありたいです。



情報提供病院のご紹介

宗教法人 聖フランシスコ病院会

聖フランシスコ病院 地域連携科

聖フランシスコ病院は、平成 22 年 5 月に情報提供をスタートしました。

キリスト教の愛の精神に基づき、地域の皆さまに信頼される質の高い医療を目指します。

おおまがり たけゆき

◆◆ Message / 大曲 武征 病院長 ◆◆



DOCTOR'S PROFILE

S43 年 長崎大学医学部卒
専門：外科
H19 年より現職

あじさいネットで、よりスピーディーでレベルの高い診断を

長崎市北部地区の医療に大きな貢献ができる、燃えるような熱い期待をもってあじさいネットに入会しました。

当院は、電子カルテではないため、入会当初の利用数は多くありませんでしたが、現在は徐々に増えてきている状況です。

あじさいネットを通して MRI や CT の検査データを多く提供しています。

当院は、MRI、CT、レントゲン、エコー等の高度医療機器と、放射線科医師の画像診断により、スピーディーでレベルの高い診断ができます。

今後、あじさいネットが広く普及していくにしたがって、病院の透明性を更に高めると共に、開業医の先生方の診療の質向上にもつなげることができると考えています。

情報交換会で、より円滑な地域連携を

現在、電子カルテの導入を計画しています。

また、地域連携を深める一環として、毎年、開業医の先生方との情報交換会を開催しています。

電子カルテ導入で、カルテ記事の閲覧や内視鏡画像の閲覧が可能になり、診療内容がより分かりやすくなります。開業医の先生方に更に信頼される情報提供病院として育っていきけると思います。

情報交換会では、当院にいつも患者さまを紹介していただいている近隣の開業医の先生方と親交を深めています。当院の状況をお話しすると共に、参加された先生方からは、貴重なご希望やご意見をお聞きしています。こういった機会に、あじさいネットを利用していただけるようお願いしています。

あじさいネットに期待すること

当院は二次救急病院です。当院でできない診療が必要な場合は、大学病院に紹介いたします。今後、あじさいネットが病病連携により利用できる、大学病院での患者さまのカルテ情報を閲覧できるようになり、あじさいネットの活用がさらに広がっていくと思います。

また、あじさいネット利用により、検査の重複が減り、患者さまの立場にたった診療が可能になっていくことに期待しています。



聖堂にて

前列左から磯科長、山崎副院長、大曲病院長、竹口事務長
後列左から地域連携科 麻生、中道主任、橋本、松永

急性期疾患の診療を中心に、その方らしさを大切に考えながら、ホスピスでの緩和医療にも力を注いでいます。

また、宗教的ケア・心のケアを専任担当者や司教の協力によって実践しています。聖堂では年に2回、追悼ミサも行っています。

●地域連携科より

《診療所の先生方へ》

当院の土曜日の登録受付は午前中までとなっています。時間外に依頼を受けた場合は、翌診療日の登録になるため、大変申し訳なく思っています。

一人の患者さまに対して、複数の病院へ同時に登録依頼をアクセスされた場合、依頼を受けた病院は、ほぼ同時に登録作業を行うため、登録できないケースがあります。御面倒ですが、一病院毎に、アクセスを流していただくと助かります。

紹介で受診を予定されている方で、当院に受診歴がない方やホスピス予約の方の場合は、次の受診やホスピス入院決定の時まで、あじさいネットの登録をお待ちいただく事になっていきます。できるだけ、受診日の近くで登録の依頼プロセスをしていただくと大変助かります。

情報提供病院のご紹介

社会医療法人

長崎記念病院 地域連携室

長崎記念病院は、平成 22 年 9 月に情報提供をスタートしました。

「地域のために、よりよい医療を、心をこめて」を理念に掲げています。

いまむら ゆきお

◆◆ Message / 今村 由紀夫 病院長 ◆◆

長崎市の「南の砦」として、
初期治療から二次救急までを
支えています。



DOCTOR'S PROFILE

S50 年 長崎大学医学部卒
専 門：一般内科呼吸器
H22 年より現職

当院は、長崎市南西部に位置しています。立地条件上、近隣にはクリニックも多くはなく、過疎化も進んでいる地域もあります。そのため救急車の搬送率も高く、遠方よりかかりつけ医院として来られる方も多いため、初期治療から二次救急までの役割を果たしているといえます。

紹介の窓口は地域連携室ですが、緊急な場合などは、各科の部長にクリニックの先生方から直接連絡があります。私は、内科呼吸器専門ですが、内科部長時代から院長になった今でも、直接電話がかかってくる。そういった意味では、一人の患者さんを地域の医療機関で診る連携体制は緊密です。

当院の近隣で、あじさいネットに入会されているクリニックが少ないので残念に思っています。地域の先生方にもっと積極的に参加していただきたいです。

あじさいネットでは病病連携に期待

当院の性格上、長崎大学病院や市民病院、長崎原爆病院に紹介した患者さんが、当院に帰って来られて、フォローするケースが多くあります。そういった際の病病連携での情報閲覧利用に期待しています。

先日、病病連携の会議がありました。情報漏洩時の罰則規定等の話はませんでした。問題発生時の責任の所在も不明瞭ですから、今後はそういった事を全員で考えていく必要があります。

また、セキュリティの担保も大切です。セキュリティのレベルを上げ、極端に制限した運用になりますと、日常的には使いづらいシステムになります。逆にハードルを下げますと、使いやすいけど、その分だけセキュリティは低くなります。情報セキュリティの担保については、そのバランスのとおり方が非常に難しいので、慎重に進める必要があると思います。

あじさいネットの啓蒙活動

医師だけでなく薬剤師へもアプローチ

昨年の秋、当院で講師として、詫摩和彦先生、橋本清先生をお招きし、第六十三回あじさいネット運用講習会を開催いたしました。その際、薬局薬剤師の先生方を集めてあじさいネット説明会を行いました。当院は昨年十一月より院外処方になりましたが、近隣の薬剤師の先生方には、当院で患者さんが受けた化学療法の内容や、内服薬といった情報をきちんと知った上で服薬指導していただきたいという思いから開催しました。

● 地域連携室より

《障害発生時の対応》

まずシステム管理室に連絡後、SECに電話連絡します。最近、登録作業に慣れて不具合が起こらなくなりましたが、以前はよく伊藤さんにお世話になりました。

《ベンダーの方へ》

最近、登録医がソートですぐでくる機能が追加されてきました。改善していただきありがとうございます。ただ、突然、画面が変わっていることがあるので、大きな変更の場合は、変更内容をMLで流して頂ければ助かります。または、ポータルサイトに掲示板を作っていたとき、その掲示板でメッセージを見るようにできたら一番分かりやすくいいと思います。

《その他》

当院は電子カルテが導入されておらず、【照会】と【紹介】の判断に時間がかかります。できれば、同意書に紹介と照会の記載欄を設けて○印を付けるようにしてもらえると便利です。



前列左から早瀬室長、今村病院長、麻生医師(医療情報部顧問)、後列左から神近(医療情報部 医療情報技師/薬剤師)、地域連携室スタッフの方々

当院は、今年で九十周年を迎えました。医師不足、看護婦不足の中で地域医療を支えています。勤務医の年齢が上がっておりますので、若い先生方にどんどん長崎に帰って来てほしいですね。医療分野だけではなく、他の産業も含めてそう思います。

「あじさいネット」キーパーソンに聞く

いしぐる みつひさ

(株) N T T データ 石黒 満久 氏

『あじさいの奇跡』を社会基盤へ育てていく役割

あじさいネットは、医療情報システムに強い N E C ・富士通と、ネットワークに強い N T T データが組んだキレイなバランスがとれたネットワークだと思っています。

システムの仕組み

情報閲覧施設に設置されたオンデマンド V P N は、インターネットは通しますが、そこから先は安全な暗号化という技術で、医療情報を守っています。

通常、インターネットにつなぐと世界中の色んな人から閲覧される可能性があります。オンデマンド V P N はそれをガードしている形です。

車道に例えると、誰でも一般車道は走れますが、高速道路は専用ゲートを通ら



システム構築に苦勞した点

当初は仕掛け作りに奔走しました。

何故 N T T データがあじさいネットをやめるのかを社内、社外も含め示していく事に一番苦勞しました。あじさいネット会費の額も低コストに押さえなくてはいけない、運用には人もきちんと配置する必要がある、そういった仕掛けを作りながら、ネットワークを稼働させていくことが大変でした。

社会基盤として確立するためには

会員を増やす必要があります。県民の医療を支える地域医療ネットワークを目指すのであれば、少なくとも半数、できれば六割、七割の先生方が、あじさいネットに加入する状況を作らないといけないと正直、思っています。

現在、読影支援、遠隔カンファレンス、テレビ会議といったサービスを構築されている最中ですので、今後、利用用途がどんどん広がっていくと思います。

あじさいネットが、社会基盤として確立していくために、県も含めた全体の仕掛けの一つとして機能していくようになるでしょうから、N P O から脱皮する時期がくるだろうと思っています。

例えば、マイナンバー制度を利用した形で運用していくためには、N P O の形で運営するのではなく、国、県といった公共的な位置づけの運営母体が回り始めないと、社会基盤とはいえないと思います。N P O はその先駆けとして、黎明期を走ってきた評価はされるべきだと思います。

あじさいネットの見学、視察は七十を超えているそうです。これは、あじさいネットがそれだけ価値を持っているからです。

現在、あじさいネットモデルを他県でも展開して回っています。例えば、島根県の「まめネット」や、あじさいネットに見学にも来られていた岡山県の「晴れやかネット」がそうです。『あじさいの奇跡』を他県に広げてこそ、あじさいネットに価値があるといえると思っています。

これからは、地域完結型の医療が進められていくと思いますが、その時には、あじさいネットのような地域連携ネットワークが必要です。地域医療連携の大きさを、一番ベーシックにシンプルに表現しているのが、あじさいネットです。そういう意味で社会を変えていく、変わっていくのに合わせて、地域医療が充実していくのはすごく価値があると思っています。私は、今後も、あじさいネットの良さも含めて根幹を支えていきたいですし、改善すべき所は積極的に協力していきたいと考えています。

石黒さんにQ&A

趣味

アウトドアです。キャンプは年に4回、5回行きます。バーベキューは2か月に1回くらい楽しんでいます。

Q. 最近はどこにキャンプに行かれましたか？

A. 富士山の麓に家族で訪れました。

他の趣味は、魚釣り、子供らとプールで泳ぐこと。小説などの本を読むこと。

Q. サスペンダーが、いつもおしゃれですね。

A. 大体、十人中十人に「お腹にあうベルトがないからだろう」と言われるけど、本人はファッションだと思っています。20代後半から20年くらい使っていて、ほとんどベルトはしたことはないです。サスペンダー大好きですね。今まで20本くらい使い古しました。

家族の写真を楽しそうに紹介する石黒さん



あじさいニュース



写真前列右から、小尾重厚会長、山下裕久 旭川医師会長、牟田幹久先生
後列右から、伊藤武芳 旭川医師会事務局長、田崎賢一先生、木村博典先生、柴田真吾先生

〈ご訪問記〉

山下裕久 旭川医師会長と伊藤武芳 事務局長が
あじさいネット運営委員会をご見学されました。

昨年9月15日に、旭川医師会市民フォーラム「医療IT連携は皆で立ち上げ、皆が育てる 旭川・道北医療連携」にあじさいネットから松本・木村・牟田・小尾4人で行ってまいりました。その折に、「運営委員会でいろんな話を、喧々諤々議論をするんですよ。この議論の中から発展的な方向性が見えるようになっていきます。うちの運営委員会を見に来られませんか？」と話していましたら、本当にお見え頂きました。「大いに参考になりました。」とコメントを頂きました。立派なIT連携ネットが出来る事を期待しています。

記) 小尾重厚 会長

【あじさいネット同意書の取り扱い手順】

- 患者さまに同意書の説明をします。
- 同意書に患者さまとかかりつけ医療機関が、必要事項を記入します。
* 同意撤回届の〈かかりつけ医療機関記載欄〉にも必要事項を必ずご記入下さい。
(かかりつけ医療機関：かかりつけ医、かかりつけ薬局)
- 取得した同意書を2部コピーします。
⇒ 1部は患者さま保管用
⇒ 1部はかかりつけ医療機関保管用
- 取得した同意書を、閲覧を希望する情報提供病院にファックスします。
- 15分以内に、情報提供病院からかかりつけ医療機関へ登録手続き完了のファックスが届きます。
この時点で利用可能となります。
- 取得した同意書の原本は、情報提供病院に郵送します。
(各情報提供病院の住所、電話、ファックス番号は同意書様式の3枚目に掲載されています。)

患者さんにお渡しする書類は3枚です。

- ① 参加同意説明書 ② 同意書のコピー ③ 同意撤回届

* 情報提供病院ごとに同意書は必要です。A病院とB病院の2医療機関をご希望の場合は、それぞれの病院用に作成して下さい。(2部必要です)

皆様へお願い

同意書の〈患者さま記載欄〉の他の医療機関での同意書作成歴「なし・あり」にチェックをお願いします。もし既に他医療機関で登録済みの場合、二重登録になり、不具合が生じますのでよろしくをお願いします。

表紙撮影☆談話

福岡県宇美町の難所ヶ滝に、毎年1月に登っています。2011年がこの5年間で最高の凍結でした。あじさいネットは、この瀧のように凍結することなく上昇中です。

県北でも、情報提供病院が佐世保市立総合病院、佐世保共済病院、佐世保中央病院に加え、長崎労災病院も加わりました。薬局の参加も始まり、いよいよ本格始動です。

愛犬ムータと一緒に登る時もあります。



記) 佐世保中央病院 米満伸久 先生 (佐世保市医師会理事)



HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



これからの「医療」を考えています。

Empowered by Innovation **NEC**

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

NECの地域医療連携ネットワークサービス

まずはWebで、詳細情報を。www.megaok.com/ **【検索】**

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL. 03(3798)6756

人と地球にやさしい情報社会へ

<http://www.nec.co.jp/>

Good Health Creator, MEDical+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤としてヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災に被災された皆様に対し速くお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心より祈り申し上げます。



□ 事業内容

- 臨床検査
(生化学的検査・血液学的検査・生化学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 予防医学関連サービス
- 医療関連サービス
- 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入
- 医薬品・化学品の毒性試験・薬効薬理試験
- ヒト観察による薬効・毒性評価
- 遺伝子・タンパク質解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境/リスク評価サービス
- 食の安全サポート
- ドーピング検査

三菱化学メディエンス株式会社

〒108-8559 東京都港区芝浦四丁目2番8号
TEL.03(6722)4000(代表)

あじさいネット入会方法のご案内

1. 入会

入会申込書を事務局宛に送っていただきます。
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。
所属医師会が入会していない場合は、入会金が **50,000 円** 必要となります。尚、初期設定費用として別途 **30,000 円** を承ります。

2. 利用料金

月々 **4,000 円** (レセプトオンライン請求も希望の場合は **5,000 円**)
と年 **3,000 円** のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。

3. 機器の設置

機器設置用ヒアリングシートに必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。
シートに基づいて専門スタッフ (NTT 西日本ホームテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。

4. 運用講習会

利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。

5. 同意書と登録

患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 **10 分** 後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。

6. あじさいネットポータルサイトへのログイン

アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。



入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)担当: 三浦、苑田
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

高原先生は、今回、中面記事にてご紹介しています。
詫摩先生いつも楽しい作品ありがとうございます。

編集後記

これから長崎労災病院 (佐世保)、諫早総合病院 (諫早)、虹が丘病院 (長崎)、そして五島中央病院 (五島) が情報提供病院として運用が始まります。これで情報提供病院は 21 となります。全国的には地域医療再生基金を使ったあじさいネット同様の IT 地域連携の取り組みが広がっており、あじさいネットよりも多くの情報提供病院数で運用を計画している地域もありますが、実運用しているネットワークでは、現在あじさいネットが全国最大規模と思われます。今後も他の地域に負けないよう安全で地域医療の質向上に有益な連携ツールとして発展していくよう、皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 ajisai-project@nagasaki.med.or.jp
最新の情報は、HP をご覧ください。http://www.ajisai-net.org/